

平成 23 年度まちづくり懇談会会議録【加茂地区】

日 時 平成 23 年 7 月 21 日 19 : 00 ~ 21 : 00
会 場 加茂地区センター
参加者 74 人

市長からの「防災対策について」と題した説明のあと、参加者の皆さまとの懇談(質疑応答)に入りました。

(1)「防災対策」に関する意見交換

地区自治会からのご意見・ご質問

三軒家自治会より:自主防災組織の現状把握について

自治会の中に自治会活動に参加していないアパート・マンション等の対応について、自治会の世帯数の半数以上が自治会活動不参加世帯数があります。現状ではその人達を自治会活動に引き入れることは不可能です。

加茂地区防災本部に来る市職員がどれだけ各自治会の状況を把握しているか。

震度 5 以上の地震が来たときに災害対策本部が設置され、自治会長、副会長はそこにかける、市の職員 2 名もかけるとなっています。私は昨年と今年、役員をさせていただいておりますが、市の職員の名前すら知りません。名前をきちんと役員ぐらいには知らせて欲しい。

年に一度、自治会役員との話し合いを持ってもよいのではないか。

2 名の地区派遣員が決まっているならば、各自治会が多くの問題を抱えているので、それを把握するぐらいの危機管理を持って取り組んで欲しい。

災害時に自治会に情報を求めることが多くあると思います。自治会活動に参加していない世帯が避難地にどっと来たら顔、名前すら知らない人達で対応できない。どうすればよいか。

総務企画部長からの回答

災害時においては、自治会への加入の有無によって、不公平が生じてはなりません。情報提供など差が出てしまうことは考えられます。

普段から地域の方々とコミュニケーションを図ることによって、災害時にもスムーズな対応が可能と考えますので、自治会担当の地域支援課などと連携を図り、自治会加入の推進をしていきたいと考えます。また、各自治会におかれま

しても積極的な自治会加入の働きかけをお願いいたします。

自治会役員と市職員の話し合いにつきましては、現在、大規模災害時に避難所となる市内各小、中学校において、自治会役員、学校関係者、市職員などが参加し、避難所運営委員会や防災推進会議といった話し合いの場を設けております。また、地域、総合防災訓練時には市職員を派遣しておりますので、そのような機会をご活用いただきたいと思います。

三軒家自治会より再質問

今、聞いた話は前回アエルの会場で防災会議があった際に質問を出したところ、同じように地域支援課に連絡しますと同じことが言われました。いったいいつになったら、そういったものは一歩前に進むのでしょうか。自治会も真剣になっていて、役員を引き受けると防災の事が肩にずしっとのしかかってくる。そういうことも考えて対応して欲しいと思います。

司会：企画政策課長

自治会と市の職員の連携はとても大切なことだと思いますので、戻りましてその辺りは徹底させていただきたいと思っております。

白岩下自治会より：市として把握している地質等の防災マップはあるのか

加茂地区では地盤が非常に悪いので、液状化等の危険があるのか。

防災マップに関しては、東日本大震災経験を生かしたものとし、特に避難場所、避難所に関しては早急に検討、周知されたい。

原発放射能汚染に関しては、原発の安全、不安全の論議が必要ですが、先に避難マニュアル作成、周知が必要（福島県の避難者状況から）だと思います。

総務企画部長からの回答

地質等の防災マップについては、県が公表している第三次地震被害想定に地盤関係の図面もあり、安全課で閲覧することができます。また、静岡県の地震防災センターのホームページからご覧になれますのでご利用ください。

加茂地区における液状化の危険性は、岩盤相当 20%、危険度小 18%、危険度中 12%、危険度大 50%といった面積率となっており、液状化の危険性が高い地域となっているので、まずは地域の現状を把握していただきたいと思います。

次の御質問の東日本大震災を教訓にした防災マップについては、今年3月に防災マップを全戸配布いたしましたので、次の更新時に今回の教訓を反映したものなどの作成を検討していきたいと考えます。

次の御質問の原発事故による避難マニュアル作成や周知については、現在本市

では防災指針において提案されている浜岡原発から半径10キロ以内（EPZ：防災対策を重点的に充実すべき地域の範囲）について、対策を講じております。

毎年県と共同で原子力防災訓練を実施しており、小笠地区の自治会役員みなさん、市議会議員などに積極的な訓練参加をしていただいております。

現在、原発事故に伴う避難マニュアルは策定されておりませんが、今回の東日本大震災における福島第一原発の事象を踏まえると必要性を感じております。

ただ、原子力対策における避難については国の対策の見直しや静岡県の対策見直し等を基に、作成するものであり、市独自で作成することは困難であります。今後、国、県など関係機関などと協議し、早急な見直しを公表していただくよう要請をしております。

また、市民の皆さまに提供できる原子力の情報は、広報紙などを活用し、周知していきたいと考えます。

司会：企画政策課長

原子力防災の質問に関しまして、先ほど市長の説明にもありましたが、市としましても、どこに逃げるんだ、どこに避難するんだという市民の皆さんからの意見は多くいただくところであります。これについては、福島の事故以来、市長が何度も国を訪問しまして避難の話を早急に方針を出すようお願いしているところであります。また、来週県の原子力の会議もありますので、原子力の防災についてどこに避難するかなど早急に方向性を出すよう要望をしておりますのでよろしく願いいたします。

小川端自治会より：区画整理事業等での液状化対策について

3.11 東日本大震災、中越地震、阪神淡路大震災においても発生した液状化現象につき、高確率で発生するとされている東海地震でも広範囲で発生の可能性が指摘されていることは周知のことです。静岡県の第三次地震被害想定に依れば加茂地区はかなりの範囲で「液状化の可能性が大」あるいは「可能性がある」とされています。特に可能性が大きいとされている範囲に菊川インターから宮の西区画整理区域が含まれています。

区画整理事業を進める中で、液状化に対して配慮されている事項はどのようなことがありますか。

下水道管やマンホールが液状化により路面から飛び出している映像を多く見ますが、菊川市の下水道管路の場合はなんらかの対策が実施されていますか。

生活環境部長からの回答

区画整理事業に限らず、公共事業で橋の橋台や大型擁壁などの重要構造物を施工する場合は、設計段階で地盤のボーリングデータを基に地震時の転倒や滑動、液状化などの影響も考慮して基礎などの検討をしており、工事の実施時にはコンクリート製や鋼製の杭を支持層の岩盤まで打ち込んだり、セメント系の改良材で一定の深さの地盤を固める地盤改良などの工法により対策を講じています。

宮の西地区の工事を進めるに当たっては、大型擁壁や幹線排水路のボックスカルバートなどの基礎にセメント系地盤改良を施工して地震時に配慮しています。しかし一般の宅地については、区画整理事業として特別な対策は講じていませんので、個人で対策をお願いすることとなります。

次に下水道管路の液状化対策についてお答えをさせていただきます。

今回の東日本大震災において千葉県浦安市などでは、「液状化の水圧で歩道にマンホールが浮き上がったり、埋め戻し部の路面沈下による地中の下水管がずれてしまう」などの状況が生じてしまいました。

一般に液状化が起こりやすい地盤といわれるのは、海岸や川のそばの比較的地盤がゆるく、地下水位が高い砂地盤といわれております。

そのため、液状化についての抜本的な対策はありませんが、下水道土木工事共通仕様書により、ゆるい地盤への対応として、埋め戻しの際には山砂利などの良質土により、念入りな締め固めや転圧を行っています。また、管路とマンホールとの接続部について、曲がりに対して柔軟性を有する継ぎ手（可とう継手）を採用することで、耐震性能の向上に努めています。

会場からのご意見・ご質問

白岩下自治会：(男性)

防災無線についてお伺いしたいのですが、中日新聞に 4・5 日前に菊川市は各戸に無線を配布しているという情報が入りました。私も 30 年くらい前の無線を使って家に設置しておりますが、無線が実際に鳴ったのがこの 2 年間で 1 回か 2 回くらいしか鳴っていない。無線はそんなに放送されていないのでしょうか。機械が故障していれば問題ですが、菊川市では情報はどれぐらいの頻度で出しているか確認したいのでよろしくお願いします。それと、広報で情報を流されますが、白岩下は山に近いため、放送が反響してしまい何を言っているかさっぱり分からない。これは東北でも実際ありました。何を言っているか分からなく、ただ放送がありましたねという程度しか皆さん分からない。私のところも同じような状況ですので、やはり各戸に設置された無線を、うまく活用できる

状態にして欲しい。

安全課長

今ご指摘いただきました防災無線の関係になりますが、先般、西袋地域の皆さんからご指摘がありまして、防災無線が聞き取れない、或いは音声が出ていないというお話もありました。実際に1日の中に朝・昼・晩の3回に同報無線による放送(チャイム)が鳴っていると思います。これもテストとして受信機能がされているか、されていないかという形の中の放送になりますので、まずそれを確認していただきまして、放送が出ているか出ていないか一度確かめていただければと思います。その上でもし出ていないようでしたら、安全課に持ってきていただければ、修理してお手元に返させていただけたいと思います。防災無線が古いものですので、もし中の基盤が壊れていて修理がきかない場合は、ラジオ付の防災無線に対応を変えていますので、そういった形の中の取替えをさせていただきたく思いますので、一度ご自宅で3回の放送をまず確認していただいて、故障でしたら安全課にお願いしたいと思います。

また、山による反響、工場の壁による反響など、室内にいると聞き取りにくい場合があります。ただ屋外の放送につきましては、外にいる人に限った放送で、なるべくその集落に向かって飛ばすような方向で放送させていただいています。工場や山に向けて飛ばしている訳ではございません。その集落に向けているのですが、地域性もありますのでご理解をいただければと思います。

司会：企画政策課長

宅内の防災無線につきましては、どこのお宅もだいぶ古いものでございます。修理もしくは、安全課長が今申したようにラジオで防災が聞けるというものもありますので、そういったものも対応しておりますので朝晩のチャイムが聞こえないようでしたら安全課にご相談いただければと思いますのでよろしく願いいたします。

三軒家自治会：(男性)

最近、東海地域とか連動の地震帯以外に断層帯がはしっているという話をテレビで聞いておりますが、この辺について役所はどのように考えていますか。状況がどれくらいの真実性があるかどうかとかについて聞きたいと思います。

司会：企画政策課長

今の質問は多分、新聞に載っていたというので、浜岡原子力発電所の近くに

大きな断層があるよという新聞の記事だったかと思います。実は、原子力発電所については、地質の調査をすごく念密にやられています。それで全てかという疑問はありますが、原子力発電所の周辺については、中部電力が専門の調査機関それから、先生方を交えてかなり詳しく断層の調査をしておりますので、ある程度は分かっております。原子力発電所の地震対策の考え方ですが、一つは今、大沢さんからご質問があったように、断層が近くに走っていて、断層による地震の影響を検討するというのがあります。もう一つは、東海地震はプレートの地震ですが、大陸プレートやフィリピンプレートがもぐりこんで跳ね上がる時に大きな地震があるということですが、その2つの地震が大きく分けて考えられるのですが、その2つについて安全かどうかということを考えております。浜岡原子力発電所については、その断層があるわけなんですけど、その断層よりも大きく東海地震の原因となっているプレートの地震が大きく影響してくるということが研究結果で出ております。ただ、今回福島地震があったように、東日本の地震も実は、一つひとつの地震は今までも想定されていたわけですが、今回はその一つひとつの地震がまとまって起きまして、すごい広い範囲で揺れが起こったものですからマグニチュード9という地震が起きました。先ほど市長から説明があったように、国の中央防災会議という専門家の先生が集まる場所で、もう一回東海地震についての想定を見直そうではないかという研究が始まっています。今までは東海地震と東南海地震が同時にくる、マグニチュード8くらいだと言っていたが、これからは、東南海を含めて、或いは九州までを含めて大きな地震もあるかもしれないと研究が始まっているので、今後研究の成果の中でこの地域でどんな地震がくるか、どういった揺れがあるか、どんな津波があるか、どのくらい揺れるかの時間などもありますので、これからそういった研究も進むと思われます。断層一つひとつの問題もあるかと思いますが、この地域で一番心配されるのは、想定される東海地震の影響が一番大きいではないかと思っております。今後そういう形で研究が進んで市の防災に反映していくと思っております。

まちづくり全般に関すること

自治会より:中東遠地域での道路整備(掛川方面への接続等)について

掛川方面への接続等の道路計画はどうなっているか。過去の回答を見ても検討するばかりで、実際どの程度進んでいて青写真はどうなっているのか。

ラックからたわら屋のところまで横断歩道がなく、老人では道を渡るのに大変である。修平のところへ横断歩道を付けてほしい。

建設経済部長

掛川方面への掛川浜岡線バイパス建設についてであります。昭和 50 年 10 月に都市計画決定されたバイパスルートは、県道菊川停車場・伊達方線への接続とされていますが、その後の社会・経済状況の変化によって菊川運動公園を西に向い、掛川市の都市計画道路である東環状線への接続、つま恋の進入路への接続、市境にあります後山トンネル付近において現道の(主)掛川浜岡線へ接続する案の 3 つの案があると考えております。

道路整備については、現状の道路交通状況の詳細を調査し、どのルートでの整備を進めるか考えて行く事となりますが、その際には隣接市である掛川市や静岡県と協議・調整を行い、整備方針を策定していくこととなり、今後も継続的に検討を進めてまいります。

2 つめの横断歩道の新設についてですが、信号機や横断歩道などの道路交通法に基づく安全施設の設置については、菊川警察署の管轄となります。

設置要望は直接菊川警察署交通課に提出して頂くか、市役所安全課まで提出してください。

設置については警察で道路状況や歩行者の利用形態、見通しの良し悪し等を調査して判断されます。

採択されましても要望されてから設置までに 1 年間ぐらいの期間が考えられますのでご理解をお願いします。

自治会より:小川端橋下流樋管付近の湛水対策について

H23 年 1~2 月に小川端地内の排水調査が行われ、樋管付近の湛水対策に対する改善計画を立案するとの通達がありましたが、調査結果及び改善内容、予定について説明をお願いします。

建設経済部長

小川端地区の排水を菊川へ排水する川原田樋管の径は 300mm であり、流域面積 (4.39 ㍊) から検討しても排水能力不足となるため、平成 22 年 12 月から平成 23 年 3 月にかけて現況調査を行いました。地区の排水路高の調査と、小出川への排水の可能性とその効果について検討をしたものです。

検討は、流域を一部変更して川原田 7 号線 (ホワイトクリーニング横) に繋がる新たな排水路を設置し、一部排水先を小出川に変更するものと、雨水貯留池を設置するものであります。

新たな排水路の設置については、一部排水先を変更することによって川原田樋

管への負荷を軽減させることを目的とし、雨水貯留池の設置は川原田樋管への雨水到達時間をコントロールすることを目的とするものであります。

何れにいたしましても、雨水対策は流域全体で考え、対策するものですので、調査結果の報告と今後の対応について説明に伺いたく考えていますので地域として協力を戴きたくお願いします。

自治会より: 駅北大型商業施設また開発について

J R 菊川駅東アンダー工事が完成すると、駅北の活用が始まり、大型商業施設が計画され今年から工事が始まります。駅南の経験を生かし、市有地、空地の有効活用等のまちづくり基本方針をご教示ください。(日坂の道の駅までの道路整備は最優先で必要です。道路が無ければ効果は半減します。直ちに計画すべきです)

建設経済部長

現在、J R 菊川駅東側で工事を進めております、都市計画道路朝日線の整備につきましては、平成 24 年度の供用開始を目指しており平成 22 年度末の進捗率は 89%となっております。ご質問にあるように駅北地区においては、遠州鉄道株式会社が大型商業施設を計画しており、平成 25 年 4 月オープンを予定していると聞いております。

朝日線アンダー開通後は急速に周辺の土地利用が図られる可能性があるため、南北市街地の均衡ある発展を目指し、周辺地域全体を含め、商業・業務・居住・文化・行政といった様々な都市機能を誘導することにより、都市拠点としての機能強化を図り、中心市街地の活性化に寄与する土地利用を推進し、「賑わいの場」の創出に向け、地元の意見等も聞きながら健全な土地利用、有効な土地利用を検討してまいりたいと考えております。

また、日坂・道の駅までの道路整備についてですが、朝日線アンダーの投資効果を最大限に活かすためにも、より広域的な交通ネットワークづくりのためにも必要な道路計画だという認識ではございますが、現在、具体の計画はもっておりません。少子・高齢・人口減少社会を確実に迎えるなど事業化には多くの課題もあり、その緊急性・必要性・費用対効果など様々な観点から検討が必要であり、今後関係者のご意見を伺うなかで検討してまいりたいと考えております。

自治会より: 都市づくりの基本理念 賑わいと活力を生み出す都市づくりについて
駅前商店街区画整理は、都市づくりの基本理念から、また市民から見ても満足

できるものではない。市として現状を踏まえて活気ある市街地の形成をどのように展開していくのかご教示ください。

建設経済部長

市内の既存商店街においては、後継者不足や近郊の大型店の出店などにより商店が減少し、かつての賑わいが失われている現状がございますが、活性化策として展開しております商店街組合の朝市フリーマーケットや商工会の夜店市などの事業を今後も継続して支援していくとともに、地域経済の活性化に向けて、農・商・工業の各団体の方で構成する地域活性化懇話会を平成 21 年度に立ち上げ、市内の活性化策について議論をしていただいております。今年度から空き店舗への新規参入を促すための補助制度を制定し、飲食・小売店の集積が図られるよう準備しているところでございます。

少子・高齢・人口減少時代に相応しい、自動車に過度に依存しない、コンパクトで質の高いまちづくりを目指し、経済団体や商店街組合と連携し活性化対策を検討していきたいと考えています。

自治会より: 駅周辺市街地の活性化について

菊川駅の西のお茶工場が撤去され、マンションの建設が始まりました。駅周辺の土地利用に民間が投資してきました。市はこの機に駅周辺のまちづくり活性化をどのように考えているかご教示ください。(議会だよりにも駅周辺等の活性化について質問あり)

建設経済部長

菊川駅周辺地域は、区画整理事業や朝日線 JR アンダーなどの基盤整備事業が終盤を迎え、新しい都市の姿が見えてきたことにより、駅北側における大型商業施設の進出や高層マンションの建設など民間事業者の関心も高まってきましたので、この動きを好機と捉え、さらに本市の魅力を高めるためにも、駅周辺の活性化は必要不可欠であると考えています。

特に、駅南地区は商店、住宅、公共施設等が共存する地域となっていますので、商店街の活性化と快適な居住環境が両立するよう、官民連携して良好な市街地形成を図っていききたいと考えております。

自治会: 加茂地区(戸田書店付近)の通学路について

au の前の道路に歩道がなく、自転車の中学生が危険を感じ、また、戸田書店の東側は歩行者の小学生と一緒に、混雑しているが、交通リーダーと語る会でも話が出て、子供が自転車専用路を作ればよいと言っていたのが気になる。

建設経済部長

内田加茂線の歩道設置につきましては、長池橋から内田地区までの歩道の設置を建設課によって進めており、ほぼ完成しております。だるま屋さん北側は宮の西土地区画整理事業によって歩道が設置されておりますが、AUの前は、南部第二土地区画整理事業の区域ではありましたが、歩道は設置されておられません。

一部歩道の未設置箇所については、皆様にご不便をお掛けしておりますが、歩道設置が実現されるまでの間、通学については、長池橋の歩道橋が下流側に設置されていることから、南側の歩道を利用して、だるま屋さん側にある歩道を利用させていただきたいと考えます。

次に戸田書店東側に自転車専用道を設置することについてであります。現在の歩道は3.5mの幅員があり、自転車についても歩行者と同様に歩道の通行が認められております。しかしながら、歩道内に植樹柵が設置され、実質的には2.5mほどの有効幅員で、その中に自転車専用道を設置することは自転車の通行量・通行時間などから判断して、設置の緊急性・必要性に乏しいと考えます。また、路側帯を利用した自転車専用道については交差点付近であり、右折帯の設置によって路側帯が無くなるため、設置は困難な状況にあります。

自転車のマナーについては、社会的にいろいろ問題になっておりますが、交通安全教室等によるマナー向上に期待するところであります。

小川端自治会再質問

確認ですけど、小川端の樋管の関係については実施するという事で説明いただいたということでもいいですか。これは昔からの懸案事項でありまして、やっていただけるならば、平成23年度とか24年度というような形で回答をいただければと思い再質問しました。

建設経済部長

まず調査が終わりまして、一つの方法として先ほど申しましたように、ホワイトクリーニング横に新しく水路を作り、それと池をつくろうという方針が調査の結果であります。この内容を地元の皆様にちゃんと話しをすることがまず第一です。そこでこういう方法でいこうということを検討していくことになったら、次のステップとして予算化をはかり事業化していこうという動きにな

ります。従いまして、今話した内容を今年度、或いは来年度にすぐ予算化して直ちに実施するというそういう段階ではありませんのでご理解いただきたい。その前にまず説明する機会をいただいて、やはり流域全体の話になりますので、関係する皆さんの協力を得ながら前に進めなければなりませんので、少し時間がかかりますが、段階を追って進めてまいりたいと考えております。

自治会：業務改善について

行財政改革の必要性が叫ばれ、取り組みが始まり、最終目標は「市民満足度の高い市政運営」達成です。財政健全化等の現状また効果はどうであったか、ご教示ください。

総務企画部長

合併からこれまで「地域との協働による市民満足度の高い市政運営」を目標に掲げ、行財政改革に取り組んでいるところです。

これまでの取り組み効果についてですが、行政のスリム化を図るため、行政評価により事務事業の廃止や民間委託、また、文化会館アエル、小菊荘に指定管理者制度の導入、定員の適正化計画に基づく、一般職員の削減等により第1次の行財政改革の効果額は27億3,338万9千円でした。

次に財政健全化の効果についてですが、菊川市は、平成21年度決算まで、借入金の返済などの支出に回すお金の割合を示す「実質公債費比率」という数値が、18%を超える状態が続いておりました。平成20年度19.9%・平成21年度は19.3%、18%を超えていますと、新たな借入をしようとする時に県の協議が必要となり、この割合を減らしていくことが財政運営に求められておりました。

市では、行財政改革によって生み出された財源により借入金の繰上償還、また借入金の返済額以上に新たな借入れを行わない、などの取り組みによりまして、平成22年度決算における実質公債費比率は、18%を下回る見込みであり、市の政策的な経費に回すことの可能なお金の割合が増やすことができました。財政の健全化が図られている考えでおります。

自治会：菊川市幼保施設について

新たに幼保園を建設することですが、候補地を2カ所に絞り、検討中で、平成23年度に決定の様子ですが、南（内田地区南部農村公園の一部）については片寄りすぎていて、周りに建物がなく防犯上問題があるのではないかと。確かに広くて市有地であり良かろうが、長池（長池団地東側）地内は周りに民家があり、道路沿いであり中心的な場所と思われます。南の場所であるならば送

迎バスを考えてほしい。

健康福祉部長

公立幼保園の建設計画については、老朽化及び保育環境に劣る公立の加茂幼稚園と内田保育園を含む公立幼保園として建設に向けて平成22年度から協議を進めております。平成22年度は候補地の選定について有識者による検討委員会にて協議していただき候補地の絞込みを行いご質問のと通りの2箇所を選定していただきました。

この2箇所の候補地を利用者、自治会、議会等に説明しご意見を頂く中で防犯上の観点も含め、決定に向けて最終調整を図っているところであります。

送迎バスについては、現在市内の幼稚園、保育園では行っておりませんが、今回いずれかの場所に決定しても現状では行うことは考えておりませんが、利用者の皆様のご意見や要望を頂きながらよりよい環境での教育・保育ができる施設にしたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

会場からのご意見・ご質問

(男性)

駅前に駐車場がぜひ欲しいと思いますが、駐車場が必要と考えていますか、それとも必要ではないと考えていますか。

司会：企画政策課長

市のPR不足かもしれませんが、駅前から少し離れてはいますが、高田屋さんの裏に市営駐車場（時間貸し駐車場）が造ってあります。なぜこれがあるかということ、市役所の駐車場が駅に近いので電車に乗るのに勝手にとめていってしまう人も多いので、市役所に本当に用事があるお客さんがとめれないという苦情もありますので造らせていただきました。駅から遠いので皆さんにまだ知れ渡ってないかもしれませんが、駅を利用される時は高田屋さんの裏の時間貸し駐車場をご利用いただければと思います。

また、土日につきましては市役所の駐車場を、夜遅くなれば閉めてしましますが、大きな行事が体育館や高田原でない場合は開放していますので、土日に限り市役所の駐車場をご利用ください。市役所でもまた市営駐車場があることをPRしていきますのでよろしく願いいたします。

小川端自治会：(男性)

加茂大通りのココスのすぐ南に消防署が来るということで、以前お墓がありました。動かしたのですが、未だに消防署は来なく、ココスの南が広くあいていますが、何の目的で何の為にあけてあるのか教えてください。

市長

3700 m²の土地を、宮の西区画整理事業の皆さんに貴重な土地を提供いただきましたことにまず心からお礼を申し上げます。

当初、消防組合の消防署の本署を作る計画でありましたが、先ほど申しましたように防災拠点を作るということで、市、或いは議会の協議の中で三沢地内に1万3000 m²近くの土地に防災拠点を持っていったわけでありました。その方向が絶たれましたのがつい最近のことで、去年の暮れのことであります。

従いまして、非常に優良な土地であり、宮の西の土地区画整理事業の皆さんが貴重な土地を提供していただきました土地ですので、今後市としましても、有効な、市民の皆さんにご理解いただける土地の利用を考えていきたいと考えております。

現在は、このように使うという土地利用を考えていることはありません。今後貴重な有益な土地でありますので、有効に使っていきたく思いますので今後ともよろしく願いいたします。

小川端自治会：(男性)

草だけは刈ってください。

総務企画部長

最近、消防署の職員が刈りました。

市長

10日ほど前に草を刈ったみたいですが、まだ刈り足りないようでしたら消防署に言ってください。

加茂地区会長

最後に加茂地区を代表して、市長にお願いでございます。地区センター前の農協跡地の件ですが、加茂地区センターは昔、加茂村の役場があり中心でありました。農業倉庫もあったり、前の農協跡地は地元の金融機関として、肥料、飼料、精米所があたり、このJA跡地は現在加茂地区の中心として住民の心の拠り所としまして、秋の祭典、文化祭、地区センター、幼稚園、小学校等の会合等の駐車場、幼稚園の送り迎えの駐車場、また消防団の活動における駐車

場としてどうしても必要であります。現在も車でいっぱいではないかと思われ
ます。防災関係の倉庫も置かせてもらっておりますし、22年度には自治会で仮
舗装の工事をさせていただきました。23年度で賃貸契約が切れるとのことですが、
ぜひ24年度も続けて利用できるように契約の延長をぜひお願いしたいと思
います。もし、ここを利用できないと考えますと、会合の出席率が悪くなつた
り、活気がなくなり、秋の祭典、文化祭等も縮小の傾向にあらうかと思いま
す。また、やむをえず道路に駐車し、混雑したり、交通事故が心配され、近所
にも迷惑がかかるので、24年度以降も継続をお願いしたく、コミュニティ協
議会の会長である齋藤さんと連名で本日、市役所に要望書を提出しました。
どうぞよろしくお願いいたします。

市長

地区自治会長さんより細かな要望をいただきありがとうございました。私も
いくつかコミュニティ地区センターにおきまして、3年前に農協の土地利用につ
きましては、いろいろと協議をしてまいりました。農協の土地でもありますし、
このような状況で、有効活用していただいている地区センターもいくつかあり
ますので、持ち帰りまして内部で調整するなかで、地域の皆さんの要望に応え
られる形で努力していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

(閉会：21:00)